

大地に根ざした生活へ向けて

気候変動とピークオイル（地球温暖対策化についての第4回学習会）

11月10日 19時～21時 嵐山町中央公民館

主催：嵐山町大気と水と大地の会

連絡先：弥永健一 090-8024-7151

アメリカで始まった金融危機という津波が世界各地を襲っています。高度の経済学理論をコンピュータープログラムに組み込み、膨大な情報量を駆使した投機。瞬時に世界を駆け巡った巨大資本。しかし、理論を現実と照らし合わせて軌道修正することもないまま、尽きることのない欲望は暴走し、ついに破裂したのです。国家的な救済策がとられていますが、GMなどのメジャー産業が破たん寸前にあることを止められそうにありません。社会的な弱者が、まず最初に犠牲になっています。

アメリカなどで、ガソリンの浪費が下火になり、石油への異常なほどの投機も収まったことから、原油価格も下がり始めています。これが、化石燃料消費の減少につながれば、温暖化対策の点からは歓迎すべきことかもしれません。しかし、その一方で、風力発電や太陽光発電などへの融資も滞り始めています。世界的な不景気が続けば、ピークオイルの時期もいくらか遅くなるかもしれませんが、しかし、国際的流通が滞ることによる資源不足、食糧危機、それに社会制度の崩壊などに伴って、大国をも巻き込む戦争が起これば、破局は一気に近づきます。

日本をも含む「先進諸国」は、力と資本を過信し、本来ひとがよって立つ大地から舞い上がり、その結果、気候変動をも引き起こして、多くの生物種の絶滅をも招く事態になっています。今こそ、改めて大地に根差す生活へ戻る方向へ舵を取り始まるときではないでしょうか？このような観点から、気候変動・ピークオイル対策として考えられている様々な提案についてとりあげ、情報と考えを交換したいと思います。どうぞ、ご参加ください。今回は第4回ですが、はじめての方も歓迎です。